

**2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

2024年3月29日

上場会社名 株式会社TAKARA & COMPANY 上場取引所 東  
 コード番号 7921 URL <https://www.takara-company.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堆 誠一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 世利 信之 (TEL) 03-3971-3260  
 四半期報告書提出予定日 2024年4月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

**1. 2024年5月期第3四半期の連結業績 (2023年6月1日～2024年2月29日)**
**(1) 連結経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	20,860	6.1	2,813	10.9	2,912	8.3	1,964	13.9
2023年5月期第3四半期	19,658	8.6	2,536	5.4	2,687	7.2	1,724	16.7

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 2,026百万円(13.4%) 2023年5月期第3四半期 1,785百万円(26.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	150.91	—
2023年5月期第3四半期	131.21	—

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	31,702	26,109	81.3
2023年5月期	33,443	25,082	74.0

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 25,765百万円 2023年5月期 24,762百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年5月期	—	40.00	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2024年5月期の連結業績予想 (2023年6月1日～2024年5月31日)**

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,800	4.5	3,900	2.3	2,600	0.2	199.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年5月期3Q	13,153,293株	2023年5月期	13,153,293株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	175,771株	2023年5月期	91,770株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年5月期3Q	13,015,288株	2023年5月期3Q	13,145,980株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。四半期決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化に伴いインバウンド需要は一時コロナ禍前を上回る状況が発表されるなど、個人消費は緩やかな回復が続きましたが、原材料・エネルギー価格の高止まりや継続する物価上昇など設備投資や個人消費が下振れする懸念要素もあり、依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと、当社グループのディスクロージャー関連事業に関係が深い国内株式市場においては、国内景気の回復および業績好調な半導体関連株や円安を背景に輸出関連株の買いが膨らみ、2月下旬には日経平均株価が34年ぶりに最高値を更新するなど、30,000円台から39,000円台の水準で推移しました。

通訳・翻訳事業は、特に通訳事業における主たる事業領域である、大規模な国際会議やイベントの開催が対面やオンラインにより増えており、これに伴う通訳機会も大幅に回復してきております。

このような事業環境において、当社グループは情報開示充実への要請とWeb化、オンライン化、事業体のグローバル化への動きは今後も一層進展していくものと考えております。

企業価値の拡大を目指すお客様のニーズは多様化しており、当社グループはそれにお応えするべく、お客様の決算開示実務の一層の利便性向上を推進する統合型ビジネスレポートシステム「WizLabo（ウィズラボ）」をリリースし、導入社数の増加に注力してまいりました。また、コーポレートガバナンス・コード適用や東京証券取引所における2022年4月からの新市場区分への移行に伴い、積極性を増すステークホルダーとの対話や非財務情報開示の充実化への需要に対する製品やサービスの提供、「ネットで招集」や株主総会の動画配信（ライブ・オンデマンド）をはじめとする株主総会プロセスの電子化への対応にも取り組んでまいりました。

また、afterコロナにおいても一定規模でリモートワークや遠隔会議の環境は定着しております。通訳事業で普及している遠隔同時通訳プラットフォーム“interpret”は、従来よりも安価で簡便な形での大規模なイベントの通訳や、海外での会議における通訳者の海外渡航を伴わない国内からの通訳を可能にしております。これは、これからの経済社会の変化において通訳事業が成長するための基盤の一つを構築するものになると捉えております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,860百万円（前年同四半期比1,202百万円増、同6.1%増）となりました。利益面については、営業利益は2,813百万円（同277百万円増、同10.9%増）、経常利益は2,912百万円（同224百万円増、同8.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,964百万円（同239百万円増、同13.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を相殺消去し記載しております。

#### (ディスクロージャー関連事業)

当セグメントにおきましては、統合型ビジネスレポートシステム「WizLabo」や統合報告書の売上が増加したことにより、売上高は14,547百万円（同886百万円増、同6.5%増）、セグメント利益は2,073百万円（同443百万円増、同27.2%増）となりました。

「ディスクロージャー関連事業」を製品区分別にご説明いたしますと、次のとおりであります。

なお、当セグメントにおいて売上区分の見直しを行い、従来「I R関連製品」及び「その他製品」に区分しておりました「ディスクロージャー翻訳」及び「株主総会関連製品」を顧客へ提供する役務内容の変化に合わせて、「金融商品取引法関連製品」及び「会社法関連製品」に区分変更しており、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後の売上区分に組み替えております。

#### ・金融商品取引法関連製品

統合型ビジネスレポートシステム「WizLabo」の導入顧客数の増加や、金融商品取引法関連文書の翻訳の売上が増加したことにより、売上高は6,097百万円（同366百万円増、同6.4%増）となりました。

#### ・会社法関連製品

お得意様の多くが3月決算会社のため、株主総会関連製品の納品が5月から6月に集中します。株主総会招集通知の早期開示傾向の影響により、関連する売上が前連結会計年度の2023年5月に移行する傾向が見られ、売上高は2,988百万円（同87百万円減、同2.8%減）となりました。

#### ・I R関連製品

統合報告書の売上が増加したことにより、売上高は4,151百万円（同213百万円増、同5.4%増）となりました。

## ・その他製品

WEB関連、公告関連売上が増加したことや、企業の開示プロセス支援に係るシステム開発の受注などにより、売上高は1,309百万円（同393百万円増、同42.9%増）となりました。

なお、当セグメントの売上高はお得意様の決算期が3月に集中していることに伴い季節的変動があり、第1四半期および第4四半期の売上高が他の四半期に比べて多くなる傾向があります。

## (通訳・翻訳事業)

当セグメントにおきましては、売上高は6,313百万円（同315百万円増、同5.3%増）となりました。

通訳事業では、コロナ禍で増加した社内会議需要が安定して推移したことに加えて、経済活動の正常化の戻りとともに、日本での国際会議やイベントも多く開催されました。また、海外出張や対面での会議も戻り、対面とオンラインの組み合わせによるハイブリッド型会議など様々な形式で受注件数が増え、売上が増加しました。

翻訳事業においては、企業活動の活発化から経営、広報関連の翻訳需要は増加しているものの、前年同四半期に比べ若干下回る結果となりました。

利益面では、売上増加に加え生産性向上などにより、セグメント利益は484百万円（同43百万円増、同9.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,427百万円(7.3%)減少し、18,043百万円となりました。これは、現金及び預金が917百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が2,142百万円、仕掛品が190百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて313百万円(2.2%)減少し、13,659百万円となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が32百万円、繰延税金資産が150百万円それぞれ増加し、のれんが157百万円、顧客関連資産が82百万円、ソフトウェアが267百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,741百万円(5.2%)減少し、31,702百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,849百万円(39.6%)減少し、4,339百万円となりました。これは、賞与引当金が532百万円増加し、買掛金が1,141百万円、未払費用が1,249百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて80百万円(6.9%)増加し、1,252百万円となりました。これは、繰延税金負債が28百万円、退職給付に係る負債が73百万円それぞれ増加し、長期借入金が21百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,768百万円(33.1%)減少し、5,592百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,027百万円(4.1%)増加し、26,109百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益1,964百万円の計上による増加と剰余金の配当976百万円などによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月7日発表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,139,488	14,056,506
受取手形及び売掛金	4,875,281	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,733,245
仕掛品	1,031,736	841,207
原材料及び貯蔵品	32,455	29,346
その他	399,257	392,147
貸倒引当金	△7,365	△8,929
流動資産合計	19,470,855	18,043,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,356,613	3,391,065
減価償却累計額	△2,694,038	△2,712,083
建物及び構築物（純額）	662,575	678,981
機械装置及び運搬具	1,408,654	1,402,469
減価償却累計額	△1,176,002	△1,216,013
機械装置及び運搬具（純額）	232,651	186,455
土地	3,130,576	3,130,576
その他	883,730	995,973
減価償却累計額	△723,037	△796,886
その他（純額）	160,692	199,087
有形固定資産合計	4,186,495	4,195,100
無形固定資産		
のれん	2,110,304	1,953,168
顧客関連資産	770,926	688,327
ソフトウェア	2,026,145	1,758,768
ソフトウェア仮勘定	175,372	207,615
その他	346,865	318,768
無形固定資産合計	5,429,614	4,926,648
投資その他の資産		
投資有価証券	3,056,799	3,061,956
退職給付に係る資産	282,866	293,723
繰延税金資産	197,919	348,080
その他	820,976	835,548
貸倒引当金	△1,637	△1,871
投資その他の資産合計	4,356,925	4,537,437
固定資産合計	13,973,035	13,659,186
資産合計	33,443,890	31,702,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,883,125	741,695
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	134,884	53,884
未払法人税等	919,567	546,584
未払費用	1,857,629	608,011
契約負債	1,283,612	1,184,568
賞与引当金	—	532,945
役員賞与引当金	59,203	34,950
その他	951,002	587,309
流動負債合計	7,189,024	4,339,947
固定負債		
長期借入金	57,072	35,409
長期未払金	74,816	74,816
繰延税金負債	673,519	701,781
退職給付に係る負債	365,192	439,051
その他	1,875	1,875
固定負債合計	1,172,476	1,252,933
負債合計	8,361,501	5,592,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,278,271	2,278,271
資本剰余金	4,432,688	4,433,053
利益剰余金	17,029,287	18,198,749
自己株式	△205,256	△409,507
株主資本合計	23,534,991	24,500,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	787,851	930,343
為替換算調整勘定	17,111	24,938
退職給付に係る調整累計額	422,943	309,905
その他の包括利益累計額合計	1,227,906	1,265,187
非支配株主持分	319,491	344,073
純資産合計	25,082,389	26,109,828
負債純資産合計	33,443,890	31,702,709

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2024年2月29日)
売上高	19,658,632	20,860,664
売上原価	11,559,560	12,250,402
売上総利益	8,099,072	8,610,261
販売費及び一般管理費		
販売促進費	280,713	303,788
運賃及び荷造費	130,187	131,770
貸倒引当金繰入額	△5,253	1,798
役員報酬	166,096	195,541
給料及び手当	2,448,973	2,545,352
賞与引当金繰入額	280,945	286,387
役員賞与引当金繰入額	29,900	34,950
退職給付費用	46,434	25,838
役員退職慰労引当金繰入額	7,158	—
福利厚生費	525,391	558,996
修繕維持費	94,137	85,387
租税公課	178,007	172,791
減価償却費	195,097	201,796
のれん償却額	157,135	157,135
賃借料	252,697	234,212
その他	775,076	860,660
販売費及び一般管理費合計	5,562,700	5,796,409
営業利益	2,536,371	2,813,852
営業外収益		
受取利息	95	109
受取配当金	55,695	59,813
為替差益	25,193	13,215
受取手数料	31,319	15,885
保険戻金	1,745	—
投資事業組合運用益	4,017	—
その他	47,558	15,848
営業外収益合計	165,623	104,871
営業外費用		
支払利息	1,848	1,150
売上割引	7,000	—
投資事業組合運用損	—	5,362
その他	5,230	0
営業外費用合計	14,078	6,513
経常利益	2,687,916	2,912,210



(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
特別利益		
投資有価証券売却益	7,979	106,126
特別利益合計	7,979	106,126
特別損失		
固定資産除却損	1,587	56
投資有価証券評価損	5,453	1,776
為替換算調整勘定取崩損	1,059	—
特別損失合計	8,101	1,832
税金等調整前四半期純利益	2,687,794	3,016,504
法人税、住民税及び事業税	1,040,079	1,140,187
法人税等調整額	△101,570	△111,575
法人税等合計	938,508	1,028,611
四半期純利益	1,749,286	1,987,892
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,419	23,706
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,724,866	1,964,186

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	1,749,286	1,987,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112,470	142,496
為替換算調整勘定	11,436	8,696
退職給付に係る調整額	△87,200	△113,037
その他の包括利益合計	36,706	38,155
四半期包括利益	1,785,992	2,026,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,760,975	2,001,466
非支配株主に係る四半期包括利益	25,016	24,581

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、当社の非連結子会社であったディスクロージャー・イノベーション株式会社及び株式会社TSSコンサルティング(2023年11月1日付で株式会社TAKARA Solutions & Servicesより商号変更)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間において、新たに設立したTOIN EUROPE B.V.を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ディスクロー ジャー 関連事業	通訳・翻訳 事業	計		
売上高					
金融商品取引法関連製品	5,731,007	—	5,731,007	—	5,731,007
会社法関連製品	3,075,494	—	3,075,494	—	3,075,494
I R関連製品	3,938,124	—	3,938,124	—	3,938,124
その他製品	916,187	—	916,187	—	916,187
通訳・翻訳事業	—	5,997,819	5,997,819	—	5,997,819
顧客との契約から生じる 収益	13,660,813	5,997,819	19,658,632	—	19,658,632
外部顧客への売上高	13,660,813	5,997,819	19,658,632	—	19,658,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,625	637,718	639,343	△639,343	—
計	13,662,439	6,635,537	20,297,976	△639,343	19,658,632
セグメント利益	1,630,228	440,902	2,071,131	465,240	2,536,371

(注) 1. セグメント利益の調整額465,240千円には、持株会社(連結財務諸表提出会社)とセグメントとの内部取引消去等△949,288千円、各報告セグメントに配分していない持株会社に係る損益1,414,528千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ディスクロー ジャー 関連事業 (注) 3	通訳・翻訳 事業	計		
売上高					
金融商品取引法関連製品	6,097,907	—	6,097,907	—	6,097,907
会社法関連製品	2,988,369	—	2,988,369	—	2,988,369
I R関連製品	4,151,551	—	4,151,551	—	4,151,551
その他製品	1,309,393	—	1,309,393	—	1,309,393
通訳・翻訳事業	—	6,313,442	6,313,442	—	6,313,442
顧客との契約から生じる 収益	14,547,221	6,313,442	20,860,664	—	20,860,664
外部顧客への売上高	14,547,221	6,313,442	20,860,664	—	20,860,664
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,190	786,762	787,952	△787,952	—
計	14,548,412	7,100,205	21,648,617	△787,952	20,860,664
セグメント利益	2,073,352	484,772	2,558,124	255,727	2,813,852

(注) 1. セグメント利益の調整額255,727千円には、持株会社(連結財務諸表提出会社)とセグメントとの内部取引消去等△1,227,199千円、各報告セグメントに配分していない持株会社に係る損益1,482,927千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当セグメントにおいて売上区分の見直しを行い、従来「I R関連製品」及び「その他製品」に区分しておりました「ディスクロージャー翻訳」及び「株主総会関連製品」を顧客へ提供する役務内容の変化に合わせて、「金融商品取引法関連製品」及び「会社法関連製品」に区分変更しており、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後の売上区分に組み替えております。